



学校だより

2月号

【か】よくかんがえ 【な】なかよく 【が】がんばる 【わ】わたしたちかなっ子

神奈川小公式WEBページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kanagawa/>

令和5年1月31日

横浜市立神奈川小学校

「心のつながり」を大切に

副校長 松村 博行

冬らしい寒い日が続いています。先週は「十年に一度」といわれる強い寒波が訪れ、かな小池にも厚い氷が張りました。朝登校してきた子どもたちも、池をのぞき込んでみたり氷を触ってみたりと、普段は見られない光景に興味津々といった様子でした。1月からは「レッツ体力アップ」の第3弾として持久走も始まりました。朝一番のひととき寒い時間にもかかわらず、どの学年もみんなとても一生懸命走っています。かなっ子たちは、冬を楽しみながら寒さに負けずとても元気に過ごしています。



さて、先日校内を回っていると、5年生が体育でタグラグビーの学習を行っていました。タグラグビーとは、小学生でも安全にラグビーの楽しさを味わえるようにと考え出された競技です。ボールをもって前進している選手は、腰につけた「タグ」と呼ばれるひものようなものを相手に取られると味方にボールをパスしなければなりません。相手チームに4回タグを取られるまでに、パスをつないで奥のラインまでボールを運ぶと「トライ」となり1点が入ります。このタグラグビーのように、小学校の



体育では、みんなが活躍したり安心して楽しんだりすることを目的として、ルールを簡易化したり工夫したりして行うことがよくあります。簡易的なルールといっても、チームでボールをつないでトライまでもっていくことは決して簡単なことではありません。しかし、多くのチームが、まるで本当のラグビーを見ているかのように、テンポよくボールをつなぐことができている

のです。私はとても感心し、秘訣はどこにあるのだろうかとお観察していると、ボールを運んでいる選手の後ろをしっかりについて行ったり、パスを出すときやもらうときに名前を呼んでいたりと、周りの子が指示を出していたりといった様々な工夫をしていることがわかりました。上手にボールをつないでトライが決まったときに、みんながうれしそうにしていた姿がとても印象的でした。つながったのはボールですが、同時に心がつながったような感覚をもったのではないかと思います。

「心のつながり」は、人に温かさをもたらし、日々の生活を豊かにするものであると感じています。感染症対策を取りながらの生活はもうしばらく続きそうですが、そんなときだからこそ、「心のつながり」をより一層大切にしていきたいものです。子どもたちは、いよいよあと2か月で、進級や進学を迎えます。新年度に向けて力を高めていくとともに、今の仲間とのつながりを思い切り楽しみながら過ごす期間にしてほしいと願っています。